

♪花岡 アコーディオン教室「第8回発表会」ぶらり訪問記♪

主催 花岡ミュージックアンサンブル

日時 2010年5月2日(日)13:00 開演
会場 ルネこだいら レセプションホール
交通 西武新宿線「小平」駅、徒歩3分
講師 花岡 米盛 / 指揮
参加費 無料

五月晴れの中、アコーディオン発表会に出かけてみました。

「ルネこだいら」は小平駅から徒歩3分ほどの所にあります。大、中、小、レセプションホールといくつもホールがありました。会場に使われたホールは15センチほどの段差でステージがあり、客席は椅子を並べて120席位は可能でしょうか。こじんまりしていますが、明るくて落ち着いた会場でした。

今日の発表会は、花岡米盛氏の「恵比寿教室」、「所沢教室」、「清瀬サークル」、「国立教室」の生徒の合同発表会でした。

プログラム第1部は独奏で23名の方が演奏しました。曲はお馴染みのパリの空の下/コンドルは飛んで行く / 丘を越えて / 白い恋人たち / チロルのアコーディオン / 夢去りぬ / 砂山 / シクラメンのかほり / セントルイスブルース / 夢のタンゴ / ベニスのカーニバル / 黒い瞳 / ラップの9番街 / 他楽しめる曲ばかりでした。最高齢者は80歳を越えて

いるとおっしゃっていましたが(写真)「フォスターメドレー」をしっかりと演奏しました。



年季が入っているようでした。

司会者が、演奏前にそれぞれ簡単なコメントをされるので演奏者の日頃の様子を思い浮かべながら聴くことが出来ます。100歳

になる親の介護の為、預けてから駆けつけたので当日のリハーサルが出来ずにいきなり本番で演奏された方など、皆さん苦労しながら続けている様子や、1歳半になる孫にアンパンマンの歌を弾いてあげるのを目標に練習されている方、少しずつ弾けるようになる喜びは格別です(6年目の方)等々音楽の持っている力を改めて感じました。

休憩が20分ほどあったので少々長いのではと思いましたが、別の部屋に「アコーディオンに触れてみよう」という体験コーナーが用意されていて納得しました。

第2部は、清瀬サークルによる五重奏「G線上のアリア」(写真)。また、夫が数十年ぶ



りに弾くというウクレレの伴奏で夫婦での演奏「南国の夜」、恵比寿教室生による「二台のアコーディオンのためのコンチェルト」など重奏が二組。

変わったところでは、若手オーボエ奏者による独奏「無伴奏オーボエの為の12の幻想曲より第2番イ短調」又、ピアノ独奏「J・S・バッハメドレー」、ピアノとアコーディオン(花岡米盛氏)伴奏で、花岡宗隆氏の「オオソレミオ」他の独唱など楽しみました。

最後はアコーディオン(花岡米盛氏)とピアノの二重奏で「蓮の花」「ボレロ」「千の風になって(シューベルト風)」でした。

ホールの予約が1年前とのことで、また来年このホールで発表会を開くことを客席の皆さんと約束し終了しました。(乙津:記)

